

国立科学博物館創立140周年

南方熊楠生誕150周年記念企画展

南方熊楠

100年早かつた智の人

MINAKATA Kumagusu

An informant-savant a 100 years ahead of his time

12/19²⁰¹⁷ → 3/4²⁰¹⁸
Tue. Sun.

国立科学博物館

(東京・上野公園)

開館時間／午前9時～午後5時（金曜日、土曜日は午後8時まで）

※入館は各閉館時刻の30分前まで

休館日／毎週月曜日、

12月28日(木)～1月1日(月)、1月9日(火)

ただし、1月8日(月)、2月12日(月)は開館

講演会・ギャラリートーク等 会期中に開催予定。
詳細はHPをご覧ください。 <http://www.kahaku.go.jp/>

入館料／一般・大学生620円

高校生以下および65歳以上無料

主催／国立科学博物館、田辺市、

南方熊楠翁生誕150周年記念事業実行委員会

後援／和歌山県、朝日新聞社

特別協力／南方熊楠顕彰会、公益財團法人南方熊楠記念館、

京都工芸繊維大学

南方熊楠生誕150周年記念企画展

南方熊楠 100年早かった智の人

熊楠の智の生涯

1

幼いころから天才的な記憶力を發揮し、博物学や語学に優れていたという南方熊楠。資料を通じて熊楠の生涯を概観します。



キャラメル箱



動物学 (第一稿)



ロンドン抜書



本草綱目抜書

2

智の広がり

熊楠が収集した、多様性に満ちた“隠花植物”。それはいったいどんな生物なのでしょう。科博の研究者がいまでも研究しているこれらの生物（菌類・地衣類・大型藻類・微細藻類）を、科学的視点で、熊楠標本や現在の標本資料と対比しながら紹介します。



熊楠採集の地衣類標本



熊楠採集の菌類標本

3

智の展開 - 神社合祀と南方二書 -

膨大な知識とフィールドにおける経験は、やがて、神社合祀反対運動を通じた自然保護運動をうったえる「南方二書」として結実しました。

二書に登場する植物の標本

(現在の植物) を展示し、熊楠の膨大な知識・経験が自然保護の実践に結びついたことを紹介します。



南方二書 (原文)



南方二書に出てくる植物

南方熊楠は、森羅万象を探求した「研究者」とされてきましたが、近年の研究では、むしろ広く資料を収集し、蓄積して提供しようとした「情報提供者」として評価されるようになってきました。本展覧会では、熊楠の活動のキーアイテムである日記・書簡・抜書（さまざまな文献からの筆写ノート）・菌類図譜を展示。「熊楠の頭の中をのぞく旅」に誘います。

一切智を求めて

4

帰国後の熊楠は、和歌山県の那智や田辺で“隠花植物”（コケやシダ、菌類など花の咲かない植物を総じて指して用いられた昔の言葉）や、民俗の研究にのめりこみました。熊楠使用のフィールドワークの道具を展示し、活動の一端を紹介します。



絵具・描画道具入りかご



微細藻類 プレバラート入れ

智の集積 - 菌類図譜 -

5

熊楠は、多数の菌類を集め、描写・記載し、数千枚にも及ぶ「菌類図譜」を作成しました。最近新しく発見された「菌類図譜・第二集」を初公開。従来知られていた図譜(第一集)も、合わせてバーチャル展示。



菌類図譜 (第二集)

智の構造を探る

6

熊楠の活動は、自然史にとどまらず、人文系の分野にまで及びました。代表作である「十二支考・虎」も、膨大な情報収集の上に編み出されたものです。「虎」には、熊楠が「腹稿」と呼んだメモ書きが発見されており、熊楠の頭の中にある情報をまとめていく過程を示したものとして、現在でも研究されています。「虎」の腹稿研究の紹介を通じて、熊楠の思考に迫ります。



十二支虎腹稿

交通ガイド

JR

「上野駅」公園口から徒歩5分

※駐車場はありませんので、お車での来館はご遠慮ください。

● 東京メトロ 銀座線・日比谷線

「上野駅」から徒歩10分

● 京成電鉄

「京成上野駅」から徒歩10分

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
TEL.03-5777-8600 (ハローダイヤル)
FAX.03-5814-9898

<http://www.kahaku.go.jp/>



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science